

大和人権文化センターだより

編集／三原市大和人権文化センター
住所／三原市大和町下徳良107番地1
電話／問い合わせ 0847-33-1308

「東日本大震災」パネル展開催! テーマ 震災と社会的弱者

会場

大和人権文化センター

期間

2月13日(月)～2月29日(水)

- 3月11日、東北地方を中心に東日本を激しい地震と津波が襲いました。この東日本大震災によって、多くの命が犠牲となり、暮らし、働く場が根こそぎ奪われました。こうした事態そのものが被災者の人権を大きく損なっているのだということを忘れてはなりません。
- 災害時には、情報不足やデマによる人権侵害が生じることがあります。東日本大震災では福島の原子力発電所事故により被災地の農業・水産業・酪農業が受けた風評被害、また避難先での被災者に対する心ない対応などもそうした一例です。
- 被災者の方々は、その後の避難生活でも多くの困難に苦しんでおられます。なかでも高齢者や障害者、病弱者、心理的な影響を受けやすい子ども、いわゆる「災害弱者」と呼ばれる人たちの場合、その生活実態はより深刻です。
- 非常事態には人権侵害が起こりやすいということは、歴史が示すところでもあります。被災者の人権を守ることをいつも以上に意識しながら支援や復興にあたることが大切ではないでしょうか。

今回のこのパネル展では、「震災と社会的弱者」というテーマで被災地の様子をパネル16枚（財団法人埼玉人権センター発行のパンフレット複写）で取り上げました。「人権尊重」という視点でご覧いただければ幸いです。

たくさんのご来場お待ちしています。



多くの子どもたちが親を失う



家族との悲しい別れ



打ち上げられた大型船



基礎とオルガンだけが残った保育所